

# 外から見える学生図書委員会の活動

学生図書委員会とは…

2010年に発足。今年度は、21名がボランティアで活動をしています。  
活動内容は、図書館や学生のために、いろいろなイベントを企画・実施することです。  
地域貢献や大学や図書館の広報にも役立てればと、学外の方との活動にも力をいれています。



ですが、学外の方はどのように感じているのか。  
広報の役割は果たせているのか。  
など学外向けの活動について分析・検討してみます！

## 合同読書会

・企画内容  
本学の公開講座「椿の道読書会」の受講者（地域の方）と学生が合同で行う読書会。参加者が1つの作品を事前に読んで集まり、話し合うスタイル。  
今年は、9月に村田沙耶香『コンビニ人間』で実施。その時の参加者に行ったアンケートを元に分析する。

- ・参加者アンケートの結果
- ・回答者全員が学生図書委員について「知っている」と回答。しかし、合同読書会以外の活動は知らなかった。
  - ・他の活動を知りたいのでPRしてほしいという意見があった。



## BOOK在月

・企画内容  
松江を本の街として盛り上げたいという地元団体が開催しているイベント。ヒブリオバトルや一箱古本市などの企画が開催される。古本市に参加した学生の感想を元に分析する。

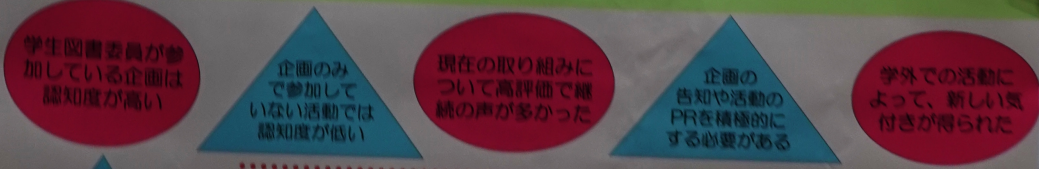
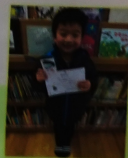
- ・参加学生の感想
- ・本の展示の仕方などが活動の参考になった。
  - ・活動について興味を持ってもらえていると話しかけられた。
  - ・活動のPRが出来たので広報になったと思う。



## おはなしレストランライブラリーでの企画 （おはなしマラソン・としょかんクイズ）

・企画内容  
本学にある絵本専門図書館「おはなしレストランライブラリー」で利用者の子ども向け企画「おはなしマラソン」と「としょかんクイズ」を7年前から行っている。今年のおはなしマラソン参加者37名の保護者に行ったアンケートを元に分析する。

- ・参加者アンケートの結果
- ・回答者全員が企画を開催している「学生図書委員会」について「知らない」と回答。
  - ・学生図書委員が発行している「図書館新聞」についても回答者全員が「手にしたことはない」と回答。
  - ・企画については、子どもが喜んでいるので良い、すばらしいなどの好意的な意見が多かった。
  - ・活動について告知をしてほしいという意見があった。



約50名の参加者があるおはなしマラソンでの認知度の低さは驚きだった

◆ まとめ ◆  
学外に向けた企画は、全体的にとっても評判がよく、良い活動をしているという評価であった。しかし、企画は知られていても学生図書委員がどのような団体でどのような活動をしているかはほとんど知られていなかった。学内でも聞いたことがあるけど、何をしているどのような団体か知られていない場合があるので、今回の結果をこれからの学内外の広報に活かしていきたい。